

歴史

歴史の中の気候
気候の中の歴史

2018年11月17日（土）

13:00～16:40 受付開始 12:30

東京大学

国際学術総合研究棟 2階 第6教室

- 13:00-13:10 **趣旨説明**
塚原東吾（神戸大学）
- 13:10-14:40 **公開講演 1**
「20世紀初頭からの失われた
気象観測記録の発掘」
エド・ホーキンス
（英国レディング大学）
- 公開講演 2**
「海洋気象記録の調査、スキャンニング、
デジタル化」
フィル・ジョーンズ
クライブ・ウィルキンソン
（英国イーストアングリア大学）
- 14:40-15:10 **休憩**
- 15:10-15:40 **コメント**
ロブ・アラン（英国気象局）
フィオナ・ウィリアムソン
（シンガポール経営大学）
- 15:40-16:40 **歴史の中での気候について考える：
試みと対話**
「気候、データベースそして空間解析：
新たな歴史研究を目指して」
城山智子（東京大学）
- 「気候学と歴史学の対話」
松本淳（首都大学東京）、城山智子
モデレーター：塚原東吾

※英語講演には日本語の逐次通訳がつきます

参加登録：お名前とその読み（アルファベットで）、ご所属、
連絡用メールアドレスを次のアドレスまでご連絡ください。

tsukaken.edit@gmail.com

メディア関係者の方々からの取材の申し込みやお問い合わせなどは参加登録用メールアドレスへ
塚原東吾（神戸大学）宛にご連絡ください。

主催：科学研究費補助金 基盤研究 (S) 26220202 「過去120年間におけるアジアモンスーン変動の解明」（代表：松本淳 首都大学東京）
科学研究費補助金 基盤研究 (S) 17H06116 「近代アジアにおける水圏と社会経済－データベースと空間解析による新しい地域史の探求」
（代表：城山智子 東京大学）

首都大学東京 気候学国際研究センター
企画協力：F・ウィリアムソン、塚原東吾

世界各地で毎年開催されてきた世界気象機関（WMO）の国際研究プロジェクトACRE（Atmospheric Circulation Reconstruction over the Earth：地球大気循環復元プロジェクト <http://www.met-acre.org/>）の第11回年次総会が、11月12日～16日に首都大学東京にて開催されます（<https://tmu-rao.jp/event/4307/>）。
本シンポジウムは、同会議に参加される海外の著名研究者をお招きした関連イベントです。

（背景は、情報通信研究機構（<http://sc-web.nict.go.jp/himawari/>）のひまわり8号可視画像（2018年8月31日12JST）を加工して作成）

参加費
無料